

# テリハボク

か めい  
科名 テリハボク

べつ めい  
別名 ヤラボ

がくめい  
学名 Calophyllum inophyllum



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 おきなわ おがさわら ねったい  
沖縄、小笠原、熱帯アジア、ポリネシア、  
マダガスカル

は かたち  
葉 の 形 だえんけい  
楕円形

は ぶち  
葉 の 縁 ぜんえん  
全縁

は さき  
葉 の 先 どんけい おうけい  
鈍形、凹形

は しゅるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい  
葉 の 付方 対生

は きぶ えんけい  
葉 の 基部 円形

み しゅるい かくか  
実 の 種類 核果

はな がくいろ しろいろ  
花・萼色 白色

せいめい  
説 明 かいがん ぼうちょうりん ぼうふうりん りよう たか きょうこうぶ けい いじょう  
海岸などで防潮林、防風林に利用されており、高さ 20m、胸高部の径 80 cm 以上になる  
じょうりよく 高木です。葉はたいせい、かくしつ、だえんけい、なが はば  
常緑の高木です。葉は対生し、革質、楕円形で長さ 15 cm、幅 5 cm くらいになります。ま  
た、葉の側脈は多数の平行脈になっています。花はふつつ夏に咲きますが、数回咲くこと  
があります。しろいろ ほうこう けい み かくか かくない こ しゅし  
があります。白色で芳香があり径 2-2.5 cm です。実は核果で核内に 1 個の種子があります。